

# 各小学校の児童数の推移と 子育て支援住宅について

下村 宏 議員

**質問** 各小学校は、地域社会の中で重要な公共施設であり、なくてはならない施設です。単なる教育施設というのではなく、地域社会を成り立たせる人間形成の中心的施設とも考えられ、防災の避難基地としても重要な施設です。そこで、学校存続の観点から村内小学校の児童数が今後どのように推移するのか、学校区別にお尋ねします。

また、安中小学校では、本年度の入学生が10人と少なくになりましたが、人口の流出・減少防止と将来複式学級とならないよう、安中地区に子育て支援住宅を建設してほしいと考えますが、執行部の見解を伺います。

**答弁（教育次長）** 各小学

校の児童数の推移は、表1のとおりです。複式学級になるのは、1年生を含むときは8人以下、それ以外では、2学年合わせて16人以下となった場合です。

**答弁（総務部長）** 現在、村内の貸家状況、空き家バンクの対策等を含めた中で対応を検討します。

**答弁（村長）** 子育て支援の一つとして、幼稚園・小学校の耐震と空調施設は今年度中には完了します。今の政府が掲げている成長戦略の交付金等は、計画がないと該当しません。来年度は、これらを計画に組み入れていきたいと考えています。

表1 小学校就学予定者数調査表

平成25年4月現在

小学校名	1歳(H31入学)			2歳(H30入学)			3歳(H29入学)			4歳(H28入学)			5歳(H27入学)			6歳(H26入学)			合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
木原	18	15	33	23	18	41	16	12	28	26	16	42	15	21	36	17	23	40	220
大谷	47	39	86	37	38	75	34	38	72	42	35	77	47	37	84	48	39	87	481
安中	9	6	15	9	6	15	6	7	13	13	2	15	5	8	13	3	8	11	82
計	74	60	134	69	62	131	56	57	113	81	53	134	67	66	133	68	70	138	783

## 緊急通報システムの 適用基準について

**質問** 単身世帯の障がい者に対しての緊急通報システム適用については、本年第1回の定例議会において質問したところ、検討する旨の答弁をいただきましたが、検討の結果どのようなものかお伺いします。

**答弁（保健福祉部長）** 70歳以上の単身世帯の障がい者には、現時点でもシステム機器設置の申し込みに応じています。

日常生活をする上で常に注意が必要な方、年齢等を含め総合的に検討し、年度内に基準を改め、対応していきたいと考えています。

